今後の事業方針（彦根愛知犬上広域行政組合）

「新ごみ処理施設整備におけるごみ処理方式の選定に係る調査検討業務報告書（以下「今回調査」という。）」の内容を踏まえ、本組合の新ごみ処理施設整備に係る今後の事業方針を、以下のとおり決定します。

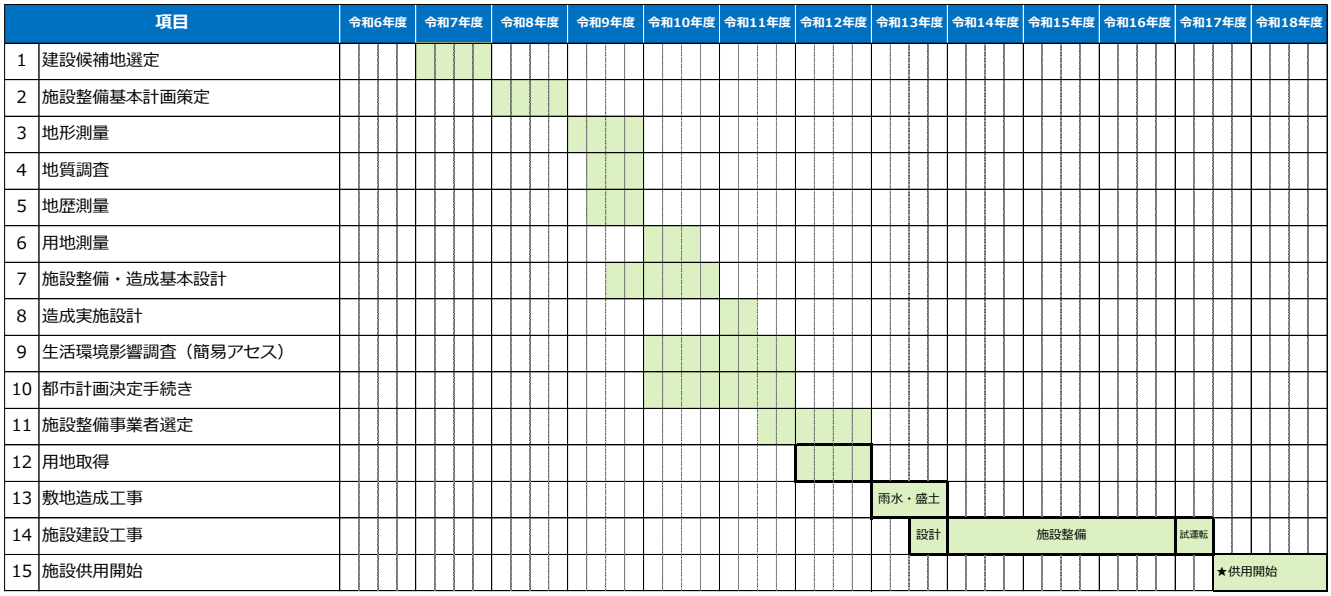
1. ごみ処理方式として、「好気性発酵乾燥方式（トンネルコンポスト方式）」を採用する。
2. ごみ処理施設では、固形燃料の成型を行わず、フラフで外部へ搬出する形態の施設整備を目指し、国の交付金要件の拡充を要望する。

◆「好気性発酵乾燥方式」採用の理由

1. 循環型社会形成やカーボンニュートラル実現の観点から、当圏域の施設規模では、「焼却方式」や「コンバインド方式（メタン発酵＋焼却）」よりも「好気性発酵乾燥方式」が適していること。
2. 「好気性発酵乾燥方式」の事業費について、今回調査の結果、財政負担が可能な額まで削減されたこと。
3. フラフの需要先について、RPF 製造事業者との官民連携により、RPF 燃料の原材料として中長期的な需要を見込むことができること。

◆建設候補地の公募について

現在の建設候補地である「西清崎」は、「焼却方式」を前提とした建設候補地です。

そのため、令和 7 年度当初予算（案）として「建設候補地選定支援業務」の経費を令和 7 年 2 月組合議会に上程し、議決いただいた後、あらためて「好気性発酵乾燥方式」を前提とした公募を行い、建設候補地を選定いたします。

◆今後のスケジュールについて